

## 国民が真に安心できる生活保障システムづくりに向けて

### 社会保障制度は 持続性・安定性を高める視点が一層重要に

- 国民が安心して暮らしていくためには、生活や雇用に関わるセーフティネットを整備することが重要であり、これらの分野に必要な財源を投入していくことは国の責務といえます。
- 一方で、わが国の社会保障制度は、急速な高齢化の進展を背景とした財源問題などにより、多くの国民から不安視されているのも事実であり、早急に制度全体の持続性・安定性を高める改革を行うことが不可欠と考えます。
- 少子化は、社会保障給付をはじめ、わが国の社会インフラ全体に大きく影響を及ぼすものと考えられることから、課題解決に向けては、ワーク・ライフ・バランスの実現など仕事と出産・育児の両立に向けた対応が必要と考えます。

### 生命保険の果たすべき役割がますます重要に

- 社会保障制度の持続性・安定性を高めるためには、「公私ベストミックス」の一翼を担う生命保険の役割が、今後ますます重要となります。
- また、生保産業が、社会からの信頼に一層応えていくためには、お客様のニーズに合致したコンサルティング活動・お客様サービス活動の徹底や、産業全体の健全な発展が何より求められています。
- 私たち生保労連は、生活保障産業で働く者の立場から、生保産業の社会的使命の達成に向けた取組みを推進していきます。



### ◆◆ 生保労連加盟組合 ◆◆

アクサ生命営業社員労働組合	第一生命労働組合	※富国生命全国外野俱楽部
朝日生命労働組合	大同生命内務従業員組合	ブルデンシャル ジブランタ ファイナンシャル生命労働組合
AIGエジソン生命労働組合	大同生命労働組合	ブルデンシャル生命内勤社員組合
エイアイジー・スター生命労働組合	太陽生命内務員組合	マニュライフ生命労働組合
ジブラルタ生命労働組合	ティ・アンド・ディ・ファイナンシャル生命労働組合	三井生命労働組合
住友生命労働組合	日本生命労働組合	明治安田生命労働組合
生命保険協会従業員組合	富国生命内務職員組合	(※オブザーバー加盟)

## 全国生命保険労働組合連合会（生保労連）

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-5 湯島三組坂ビル  
TEL : 03 (3837) 2031 FAX : 03 (3837) 2037 URL : <http://www.liu.or.jp/>

(2010.08.20発行)

## 公私ベストミックスを通じた 安心できる生活保障の実現に向けて

### — 豊かで活力ある社会を創るために —

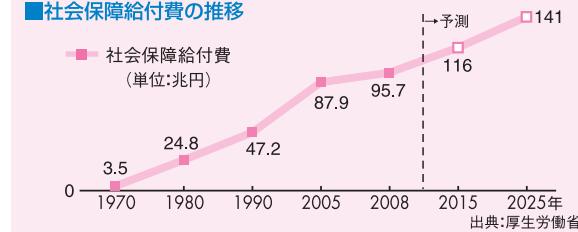


- 公的年金や医療保険など、社会保障制度に対する国民の不安感が高まる中、政府を中心に、社会保障制度改革に関する議論が進められています。
- 一方で、国民のライフサイクル・ライフスタイルが多様化する中、自助努力による生活保障の充実という観点から、生命保険の果たすべき役割はますます重要になっています。
- こうした生命保険の位置付けを踏まえ、生保労連では、国民の生活保障のあり方として、「公的保障」と「私的保障」の適切な組み合わせによる「公私ベストミックスによる生活保障システムの確立」を提唱してきました。
- 国民一人ひとりの将来の生活を豊かで活力あるものとするため、生保労連は、生保産業で働く者の立場から、今後も引き続き提言を行っていくとともに、諸課題の解決に向けた取組みを進めていきたいと考えています。

## 全国生命保険労働組合連合会（生保労連）

## ◆増大を続ける社会保障給付◆

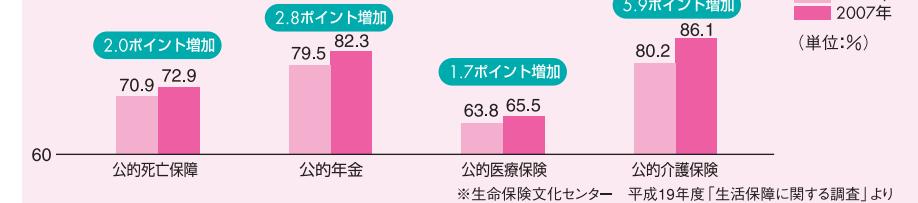
少子高齢化社会を迎える中、社会保障給付費は今後も増大していくことが見込まれます。



## ◆高まる将来への不安◆

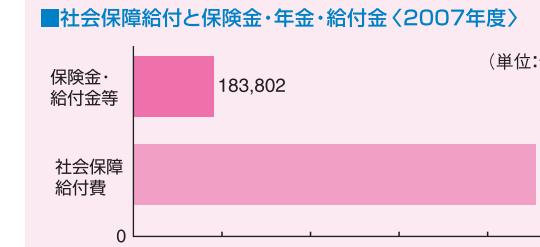
公的保障では「将来の生活をまかなえない」と考えている人が増えています。

■公的保障では「まかなえない」という人の割合推移



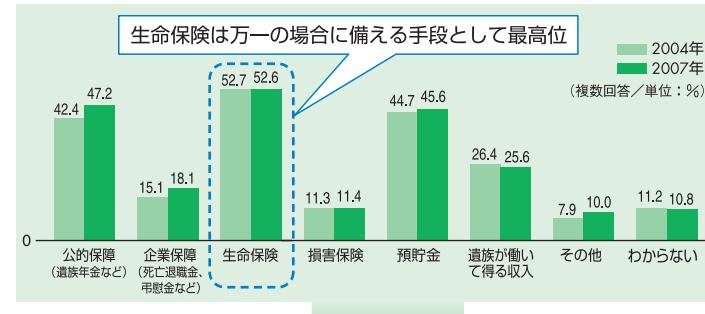
## ◆社会保障制度を補完する生命保険◆

生命保険会社からお客様へ、2007年度にお支払いした保険金等は約18兆3,802億円と社会保障給付費の約20%に相当します。

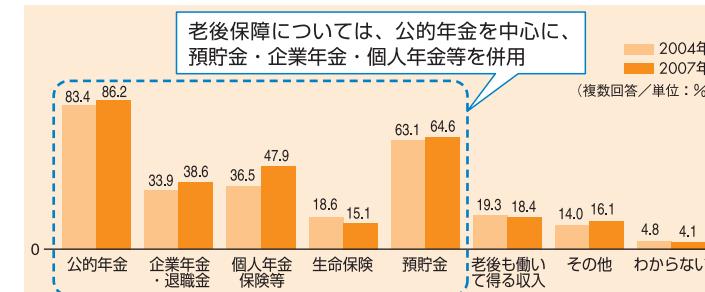


## ◆ライフサイクルにおける様々なリスクに対しては、「公的保障」と「自助努力」双方の手段による備えが必要です◆

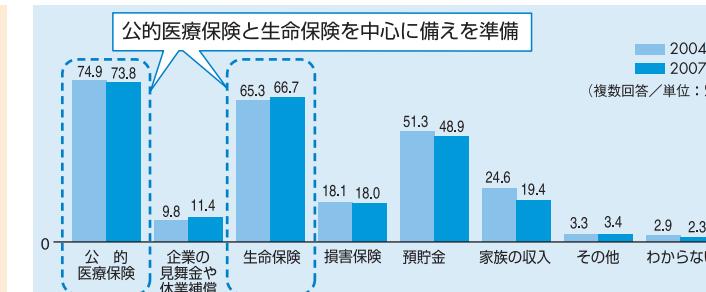
〈万一の場合に備える準備手段〉



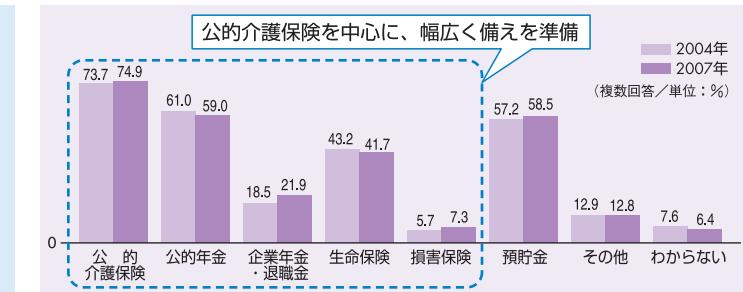
〈老後生活に備える準備手段〉



〈病気やけがに備える準備手段〉



〈介護状態に備える準備手段〉



## ◆ライフサイクルにおける諸リスクに対する生保労連の提言◆

—生涯を通じて安心できる社会保障制度の構築に向けた取組みと、生命保険等を活用した自助努力による備えが重要と考えます—

### 遺族保障分野に関する提言

- 生命保険の中核機能である「万一の場合の遺族保障」は、公的保障制度ではカバーしきれない領域であり、生保産業が最も機能発揮できる分野であると考えます。
- 遺族保障分野におけるお客さまの多様なニーズに応えられるよう、商品・サービスの充実、コンサルティング機能の強化に向けた働きかけを行っていきます。

### 老後保障分野に関する提言

- 年金制度の現状につき国民が正確に理解したうえで、持続可能で安心できる公的年金制度の構築に向けた抜本的な改革が必要と考えます。
- 老後の生活保障ニーズに的確に応えることができるよう、年金商品の充実や年金コンサルティング機能の強化に向けた働きかけを行っていきます。

### 医療保障分野に関する提言

- 安心・安全な医療サービスの受療が可能な医療体制の再構築に向けた取組みが必要と考えます。
- 国民全体の課題として、高齢者医療制度の持続性向上に向けた改革が必要と考えます。
- 国民の多様な医療ニーズに応えるべく、「公私ミックスによる選択制のある医療制度の実現」をはかることが重要と考えます。

### 介護保障分野に関する提言

- 社会の要請や国民ニーズに対応できるよう、介護保険の利便性向上に向けた対応が必要と考えます。
- 国民ニーズに合致した介護サービスの実現に向け、公的介護保険とのミックスによる民間生命保険の更なる活用を指向すべきと考えます。

## 生活保障に関する生保労連の考え方

### ◆「公私ベストミックス」による生活保障システムの確立を!◆

- 生命保険は、遺族・老後・医療・介護の各保障分野において、社会保障制度と相互に補完し合い、国民一人ひとりの多様なニーズに応える役割を果たしています。
- 今後、生活保障に対するニーズがますます高まっていく中、生命保険の果たすべき役割に鑑み、私たちは、「公的保障」と「私的保障」の適切な組合せによる「公私ベストミックス」の確立が必要になるものと考えます。

### 〈「公私ベストミックス」による生活保障システム〉

公

助

セーフティネットにふさわしい「公的保障」

自 助

国民の自助努力による「私的保障」

共 助

地域・職場を基盤とした相互扶助

